



敬愛

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「みんな違って、みんないい」

校長 持田 晃

この夏の昨年との違いは、夏休みの長さとおリンピック・パラリンピック大会の開催でした。同じなのは、コロナ禍の制約のある生活でした。

オリンピック・パラリンピック大会は、開催にあたり様々な意見がありました。それでも、結果として開催されました。このことについては、触れませんが、やはりスポーツは人に感動を与えるものだなと感じました。アスリートの4年に一度の大きな舞台に立つ喜び、そして如何にそこで最高のパフォーマンスを發揮できるか。そのかけがえのない思いと努力の集大成を感じることが出来るからだと思います。そして、パラリンピックは障害のある方々の無限の努力をテレビをとおして、知ることがあり、人としてのドラマを熱く感じるがありました。

人は得意なこと、苦手なことが誰でもあります。自分にできないことを続けられる人は、やっぱりすごいなと単純に思ったりもします。

そう、思うきっかけとなったことがありました。もう、10年ちょっと前のことです。私が教育委員会に勤務していた時に、ある中学校の副校長先生から連絡があり、「拡大教科書が買えないか」というものでした。状況を知るために、学校へ行き確認をしました。その生徒は中学2年生の女子生徒でした。病気により急激に視力が弱くなり、通常の教科書では文字や写真が判別できないとのことでした。その後、文科省に問い合わせ、予算を確保し、準備をすることができました。そして、このことは、時とともに記憶が薄らいでいきました。この女子生徒は、病状が悪化し、中学校3年生の時に盲学校へ転学することになったそうです。

それから10年近くたった時に、ある中学校の研究発表会に赴きました。そこでの講演は、視覚障害のあるパラリンピアンと母親でした。パラリンピアンとしての思い、母親としての葛藤のお話を聴かせていただきました。その学校の校長先生が知り合いであったため、連絡先を聞き、前任校でも講師としてお招きしました。

このパラリンピアンは、あの時の女子生徒だったのです。学校にお呼びした時に、そのことをお話しすると、覚えていてくれました。

今では、まったく視力を失ってしまったものの、一人で生活をしているそうです。そして、ロンドンパラリンピックで金メダル、リオパラリンピックで第5位、東京パラリンピックで銅メダルと3大会に出場しています。

得意、不得意だけではなく、ハンディキャップを乗り越えて挑戦する姿に感動いたします。生徒の皆さんも、一人一人唯一の個性をもっています。

「みんな違って、みんないい」のです。



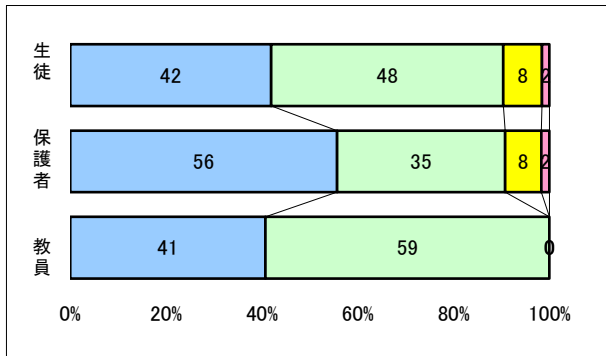
中面に7月にご協力いただいた学校評価アンケートの結果を掲載しています。ご協力をありがとうございました。次回回は、12月になります。再びよろしくお願いいたします。

アンケート結果：昨年12月との比較（抜粋）

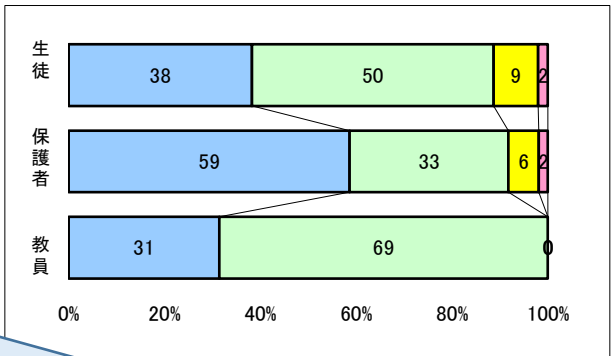
*生徒、保護者、教員の三者比較

【質問1】 正しい姿勢で座り、集中して授業を受けることができた。

<2年度 12月>



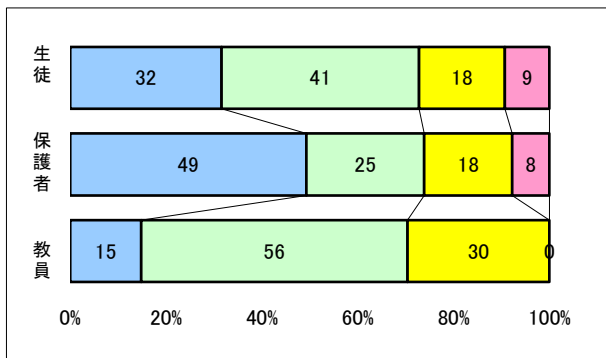
<3年度 7月>



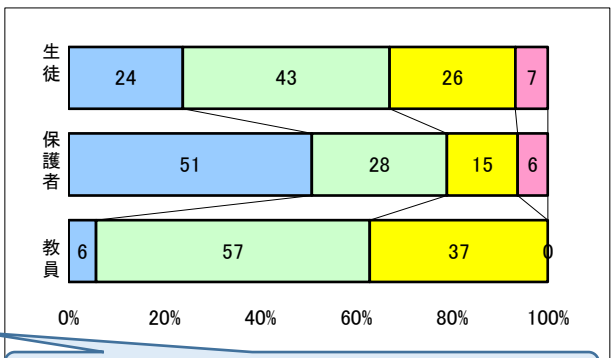
姿勢は学習の基本です。正しい姿勢は集中力も増します。

【質問2】 必要な教科書、ノート、資料集、提出課題などの忘れ物がなかった。

<2年度 12月>



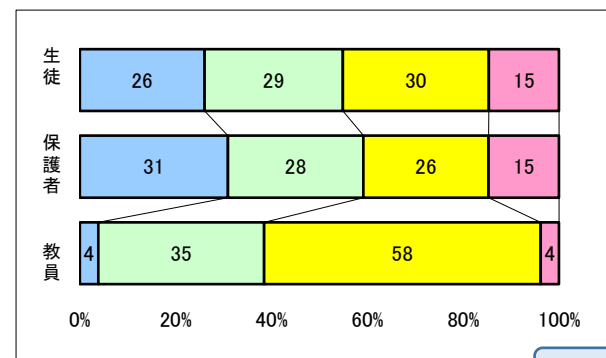
<3年度 7月>



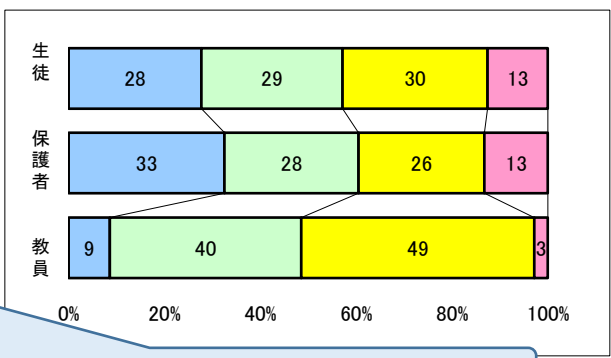
整理整頓で、効率UP！忘れ物も減ります。

【質問5】 家庭学習に毎日取り組んでいる。

<2年度 12月>



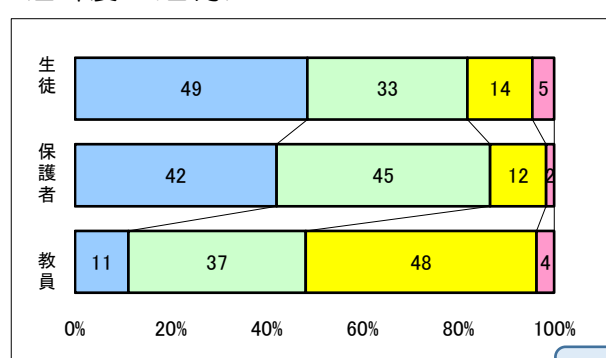
<3年度 7月>



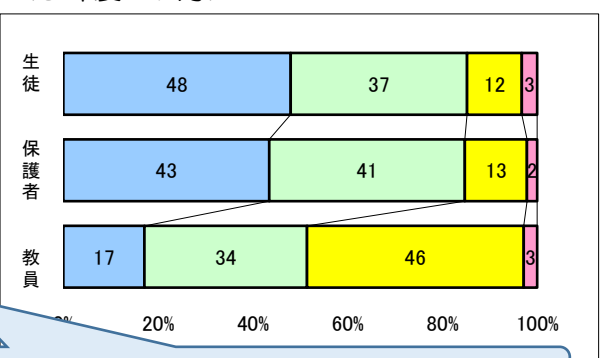
継続することが大切です。学習の習慣を身に付けよう。

【質問13】 先生や来校者の方に、自らすすんであいさつすることができた。

<2年度 12月>



<3年度 7月>



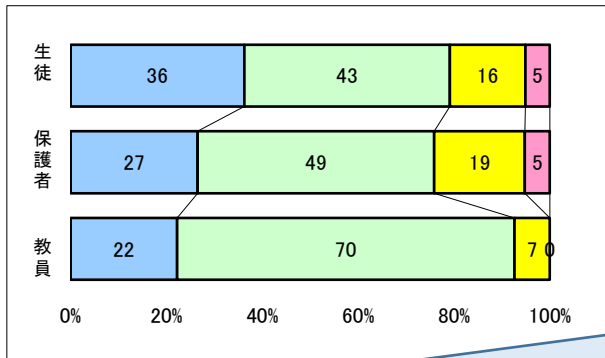
生徒会の重点事項です。挨拶をする生徒が増えています。

グラフの見方

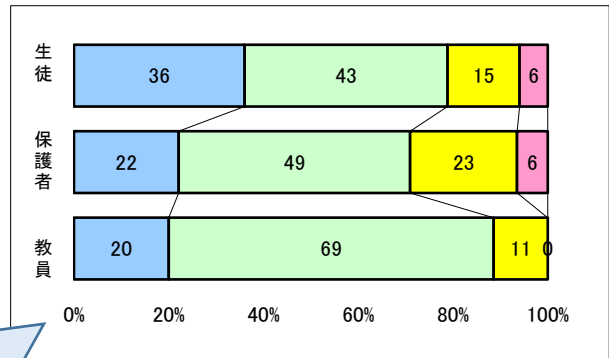


【質問18】 学校は、あなたの悩みや相談に適切に応じてくれている。

<2年度 12月>



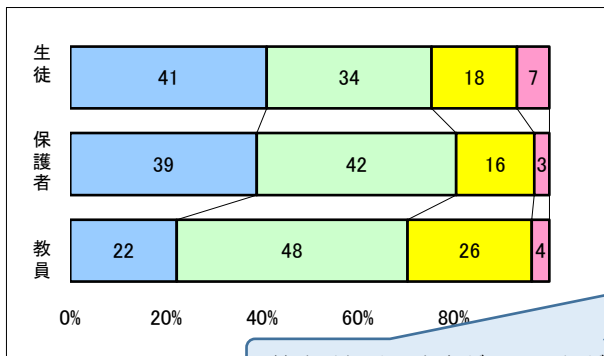
<3年度 7月>



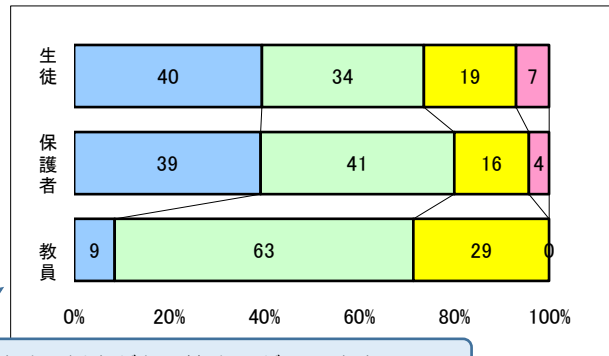
人に話すことは気持ちになります。大人でも悩みはあります。一人で悩まないで！

【質問21】 将来の生き方について考えている。

<2年度 12月>



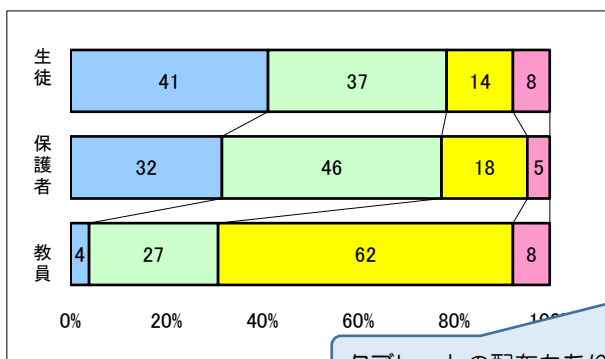
<3年度 7月>



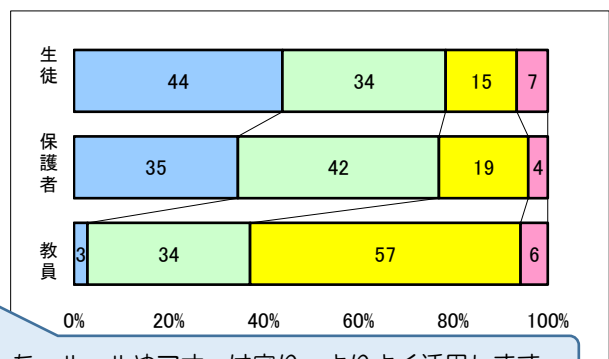
夢や希望は、生きがいにつながります。将来がある皆さんがうらやましい。

【質問23】 家庭で、保護者とスマホやパソコン、携帯電話などの安全な使用やルールをしっかりと話し合っている。

<2年度 12月>



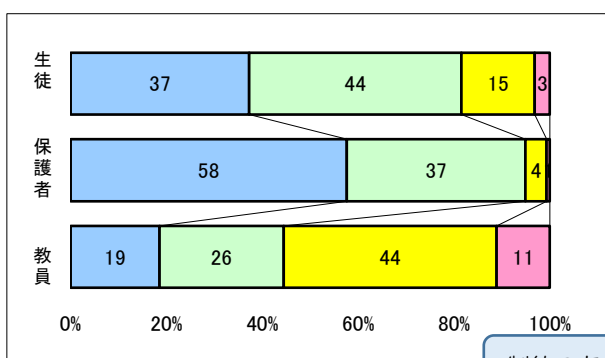
<3年度 7月>



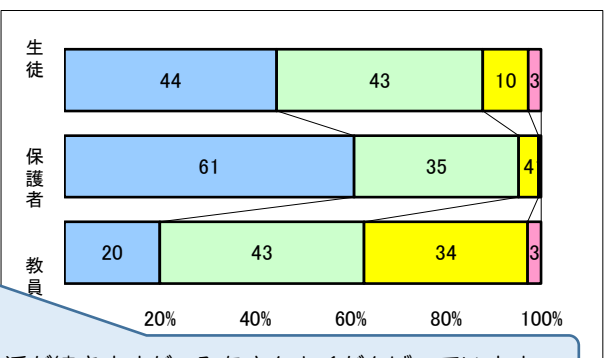
タブレットの配布もありました。ルールやマナーは守り、よりよく活用します。

【質問26】 コロナウイルス感染拡大防止への意識をしっかりとって行動することができた。

<2年度 12月>



<3年度 7月>



制約のある生活が続きますが、みなさんよくがんばっています。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO37

「 風に立つライオン 」

主任教諭 上條 裕貴

皆さんには好きなアーティストや曲がありますか？

私も好きなアーティストや曲がありますが、それとは別に両親が好きという理由で幼少の頃から聞かされ続けてきたアーティストで、さだまさしさんという方がいます。皆さんはさだまさしさんを知っていますか？CMで「にゃんぱく宣言」を歌っている人と言えばわかる人もいると思います。そのさだまさしさんの曲で「風に立つライオン」という曲があります。この曲は道徳の教材としてよく取り上げられています。歌詞についてはぜひ一度実際に見てほしいと思いますが、内容をかなり簡単に紹介すると、アフリカのケニアで国際医療ボランティアとして活動している医師(実在のモデルとなった方がいます)が書いた手紙についてです。その歌詞の中で「僕はやはり来てよかったと思っています。辛くないと言えば嘘になるけど、幸せです。」という一節があります。自分が大人になり、久しぶりにこの歌詞に触れた時に、設備が不十分なことはもちろん、治安も悪く自分の安全も保障されないような地で働き、様々な苦難の中でも「幸せです。」と言い切れるような主人公に憧れるとともに、辛いからこそ感じることのできる幸せを見つけだすことのできる強い人間になりたいとも思えました。皆さんも辛い状況になった時にその状況を悲観するだけでなく、そこにある幸せを見つけだし、さらなる一歩を踏み出すためのエネルギーにしてほしいと思います。

三中生の活躍

受賞おめでとうございます！

吹奏楽部 「第61回 東京都中学校吹奏楽コンクール」8月7日 B組
金賞 府中市立府中第三中学校



お知らせ

◎スクールカウンセラーの吉野彩さんですが、10月9日より産休に入ります。10月5日が最後となり、1月中旬に復帰する予定です。それまでの期間は別のスクールカウンセラーが着任します。来室日は毎週火曜日でこれまでと同じ曜日です。

